

子どもの体力づくり強化プラン

**「子どもの体力向上推進委員会」において子どもの体力向上策を検討します
すべての区において、子どもの体力向上に関わる取組にチャレンジします**

- ・大阪市教育委員会では平成21年度より「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果の分析、各学校における体力向上に向けた取組の状況や今後の課題等について協議してまいりました。平成25年度からは「子どもの体力向上推進委員会」において、学識経験者、トップアスリート、小学校・中学校・特別支援学校の各教育研究会、PTA協議会から委員として参加していただき、本市の子どもの体力等に関する特徴を分析し、体力向上に向けた方策について示しています。
- ・区内すべての小中学校と区が連携して、子どもが楽しく参加できる取組を企画・実施します。

3つの取組

自校の課題を明らかにし、取組を進めるために

1 すべての小・中学校で「体力づくりアクションプラン」を策定します

すべての小・中学校で「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」を実施します

- ・すべての小・中学校で、「検証シート」を用いて自校の結果を分析し、成果と課題を明らかにします
- ・各校において、自校の成果と課題に基づいて「体力づくりアクションプラン」を策定し、PDCAサイクルを確立に取り組みます

自主性を引き出し、意欲的に体育・スポーツに取り組むために

2 体育の授業・スポーツ行事を充実します

幼児期からの体力向上策を検討します

- ・幼児教育の充実のために平成26年度に策定された「就学前教育カリキュラム」との関連を図りながら、幼児期からの様々な運動について、取組をすすめます

指導内容・指導方法の改善をすすめます

- ・小学校4校、中学校2校でトップアスリートを講師に招いて実施している「体力向上モデル校講習会」を幼稚園に拡大します
- ・教員対象の「子どもの体力向上研修会」を実施するとともに、「子どもの体力向上推進プログラム」をネット配信することで「体力向上モデル校の取組」や「子どもの体力向上推進委員会の提言」を全ての学校園で共有します
- ・教員が実際に体を動かし学ぶ、「子どもの体力向上実技研修会」を実施し、指導力の向上に努めます
- ・小学校、中学校の教育研究会と連携をし、効果的な授業の研究をすすめます

スポーツの大会への積極的な参加をすすめます

- ・小学校体育連盟、中学校体育連盟と連携をし、春季、秋季の総合体育大会、総合スポーツ交歓会等のスポーツ大会の充実に努めます
- ・大阪府や大阪市の主催する事業などの気軽にスポーツを楽しめる事業の紹介に努めます

運動・スポーツに対する興味・関心を高めるために

3 様々な機関の活用をすすめ、広くスポーツに関わる機会を提供します

学校・地域・家庭の連携をはかり、子どもが運動やスポーツに親しむ機会を増やします

- ・リーフレット「いっしょにのぼそう！ 子どもの体力」(保護者向けのパンフレット)を配布し、保護者や地域の方々と共に子どもの体力向上に向けて取り組みます
- ・長期休業中や休日等に行われる、地域でのスポーツ行事への参加をすすめます

中学校における部活動指導のあり方を検証し部活動の活性化を図ります

- ・中学校における部活動の振興・充実と教員の過重負担の解消を図るため、さらには部活動のあり方を検討するため、希望調査をもとに選定した部活動に対し、委託した民間団体からの指導者の活用を図るモデル事業を平成27年度より実施いたします

子どもの体力を向上させるための取組を区役所をはじめとする様々な関係機関・関係団体と連携し、総合的に検討します

- ・子どもの体力を向上させるために、子どもが楽しく参加できる取組を企画・実施します。
- ・一流のスポーツを生で見る機会を情報提供します
- ・トップアスリートが子どもに指導する「夢・授業」(経済戦略局)をすすめます
- ・総合型地域スポーツクラブと連携します

いっしょにのぼそう！ 子どもの体力



大阪市教育委員会

平成 26 年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果分析をもとに、大阪市の子どもたちの力を伸ばすために大切なことをまとめています。家庭・学校・地域が連携して子どもたちの体力向上に取り組みましょう！



「がんばっているよ！」「できそうだね！」
ご家庭で見直してみましょう！

地域や家庭で

地域や家庭で子どもに運動やスポーツ

をするようにすすめてみましょう

- ・ 大人の声かけで子どもの総運動時間が変わります

幼児期から「いろいろな内容の運動」

をさせるように心がけましょう

- ・ 幼児期の運動習慣は大切です

部活動や地域のスポーツクラブ等を利用して、

子どもが体を動かす機会をつくりましょう

- ・ 部活動や地域のスポーツクラブでの活動が、
子どもの体力に大きくかかわっています

「体力」をつけるためには・・・

～平成 26 年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果から～

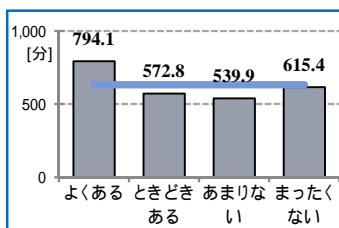
大阪市においても、家の人からの運動やスポーツのすすめがあるほど、運動時間が長い児童・生徒の割合が高いという結果でした。特に中学校の女子に顕著にみられました。（次頁グラフ 1）

幼少期からの「いろいろな内容」の体を動かす遊びを行っていた方が、その後の体力総合評価が高くなるという傾向がみられました。（次頁グラフ 2）

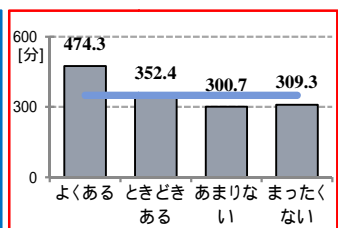
- ◆ 大阪市においても、男女ともに学校の運動部や地域のスポーツクラブに所属している子どもは、一週間の総運動時間が長く、体力合計点が高いという結果でした。（次頁グラフ 3）

家の人からの運動やスポーツのすすめと1週間の総運動時間(グラフ1)

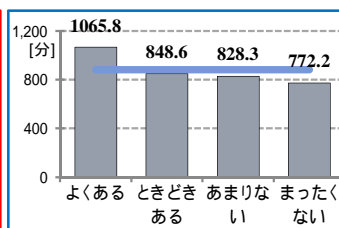
小学校男子



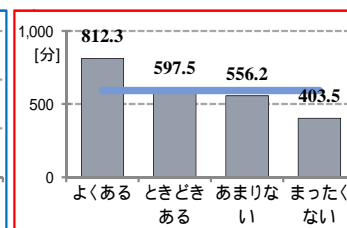
小学校女子



中学校男子



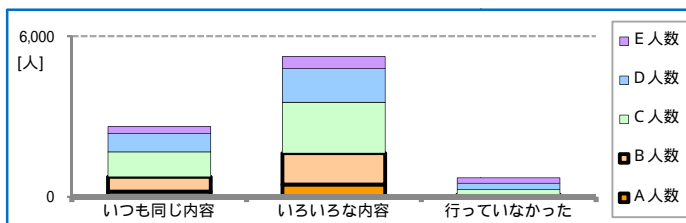
中学校女子



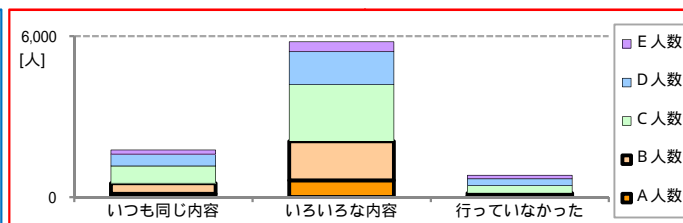
各グラフの横のラインは、それぞれの全国平均値(1週間の総運動時間)です。

小学校入学前の体を動かす遊びの経験と体力総合評価(グラフ2)

小学校男子



小学校女子

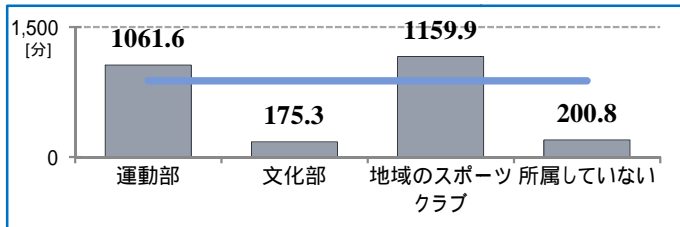


A、B、C、D、Eとは、体力総合評価の5段階であり、Aの方が体力合計点が高い。

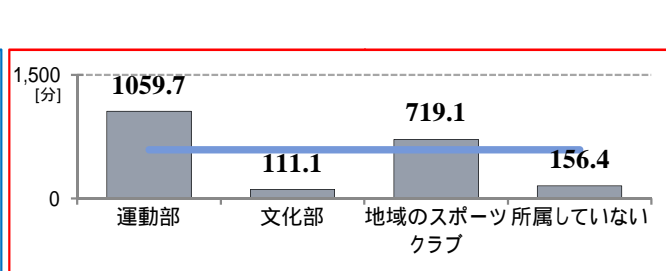
部活動への所属状況と1週間の総運動時間、体力合計点(グラフ3)

中学校男子

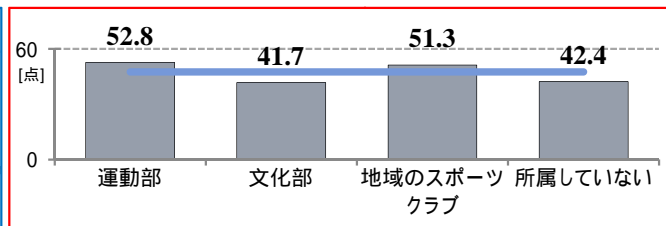
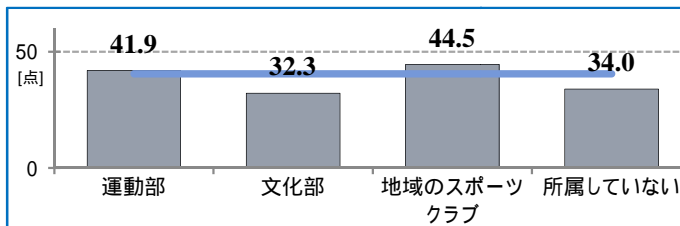
[一週間の総運動時間]



中学校女子



[体力合計点]



各グラフの横のラインは、それぞれの全国平均値(1週間の総運動時間、体力合計点)です。

家の人や地域の人子どもに運動やスポーツをすすめることが大切です。



幼少期には「いろいろな内容」の体を動かす遊びを行った方がいいです。

子どもの体力には、学校の運動部や地域のスポーツクラブでの活動が大きく関わっています。